

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	CT画像を用いた肺実質容積測定に関する検討		
② 実施予定期間	実施許可日から 2028年3月31日		
③ 対象患者	<ul style="list-style-type: none"> • Step1 研究対象者：④の Step1 の対象期間に山口大学医学部附属病院で管電圧 120kV の胸部 CT を撮像された患者 選択基準：両側の受動性無気肺を呈した 18 歳以上の患者 除外基準：肺炎や肺癌などの肺の異常所見が含まれない患者 • Step2 研究対象者：④の Step2 の対象期間に山口大学医学部附属病院で管電圧 120kV の胸部 CT を撮像された患者 選択基準：吸気および呼気 CT（同じ検査内）が 2 回以上撮像された患者のうち、肺機能検査が正常かつ非喫煙者（電子カルテで一度も喫煙したことがない方）の 18 歳以上の患者 除外基準：なし • Step3 研究対象者：④の Step3 の対象期間に山口大学医学部附属病院で管電圧 120kV の胸部 CT を撮像された患者 選択基準：通常 CT（吸気のみ）が撮像された患者のうち、肺機能検査が正常かつ非喫煙者（電子カルテで一度も喫煙したことがない方）の 18 歳以上の患者 除外基準：なし 		
④ 対象期間	Step1：2023年1月1日から2024年7月31日 Step2：2014年1月1日から2024年9月30日 Step3：2024年6月1日から2024年9月30日		
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院		
⑥ 対象診療科	全診療科		
⑦ 研究責任者	氏名	小林 大河	所属 放射線科
⑧ 使用する情報等	① 日常診療の記録から収集する項目：識別コード、年齢（CT 検査時）、性別、身長、体重、現病歴、既往歴、生活歴、肺機能検査測定値、CT 画像 ② 本研究で検討する項目：CT 値、肺容量、肺実質容量、体表面積、		

	body mass index (BMI)		
⑨ 研究の概要	<p>肺容積は胸腔内にある膨張した肺全体の容量を指し、主に肺に含まれる空気の容量を指しています。しかし、これは厳密には肺に含まれる空気に加え、肺を構成する肺実質容量が加わったものです。肺実質容量は着目されることが少なく、未知の部分が多いです。摘出肺を用いれば肺実質容量を測定することはできますが、血流が途絶え、固定処理された標本は生体内とは状況が異なります。これまでに肺実質容積の測定方法として、アセチレンガスなどの吸入を用いた生理学的手法、突然死症例の摘出標本を用いた解剖学的手法、電子顕微鏡を用いた解析などが報告されていますが、これらは侵襲的あるいは生体内とは異なる状況であり、日常診療で用いることはできません。一方、CTを用いた肺実質容量を推定した解析も少数報告されていますが、これらは前述のCT以外の手法で測定された解析結果とは大きく異なります。</p> <p>本研究の目的は、CTを用いて正確な肺実質容量を測定することです。ステップ1（無気肺の平均CT値測定）、ステップ2（CT肺実質容量の検討）、ステップ3（CT肺実質容量とCT以外で算出された既報の肺実質容量との比較）の3つのステップに分けて検討します。非侵襲的に測定した生体内の肺実質容量は、肺の機能や成長などを評価する今後の新たな指標となる可能性があります。</p>		
⑩ 実施許可	研究実施許可日	2025年1月9日	
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。		
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。		
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。		
⑮ 研究の資金源	放射線医学講座の奨学寄付金にて行います。		
⑯ 利益相反	ありません。		
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	山口大学医学部附属病院 放射線科 担当者：小林 大河		
	電話	0836-22-2285	FAX 0836-22-2285